

チユーナ・ベイ號が進水した

(六〇八一)

六二〇九

米六月中の租貸額

米租貸局次長ステツチニアスは、

六月中に於る租貸額は十億三千萬弗で租貸法實施以來の租貸  
總額は百二十九億二千三百萬弗に達する旨及一箇月間の租貸  
額が十億弗を超過したのは今回が始めて五月の租貸額は七  
億九千萬弗、昨年の六月は五億四千八百萬弗であつた旨の月  
次報告を發表した (六一四〇)

六二一〇 澤田特命全權大使

澤田廉三氏が特命全權大使に任

ぜられビルマへ出張仰付られた

(五四八七)

六二一一 鐵道車輛計畫増産措置

鐵道車輛計畫増産措置が閣

議に於て決定せられた、右に依り鐵道車輛製造工業は鐵道大  
臣の管理下に置かれ五大重點産業並の取扱を受けることとな  
つた (五九五七)

七月二十一日 水曜日

六二一二

帝國海軍航空部隊レンドバ港空襲

帝國海軍航空部

隊は午後レンドバ港所在敵艦船を強襲し左の戦果を收めた旨

大本營から發表せられた、我方の損害未歸還機一

轟沈 中型輸送船一隻

擊沈 大型驅逐艦一隻

擊破 大型輸送船二隻

上陸用舟艇十隻以上

(六二〇六)

六二一三 我陸軍航空部隊のマダン南方に於る戦果 我陸軍航空部隊はニューギニアのマダン南方に於て敵P38型二十機と

交戦其の九機を撃墜した、我方の損害自爆三(六二一二)

六二一四 樞軸軍の地中海に於る戦果 伊軍司令部發表に依れば、七月一日以降二十一日迄に樞軸海軍並に空軍は地中海に

於て左記戦果を収めた

擊沈 巡洋艦一隻

驅逐艦八隻

潜水艦二隻

大破 巡洋艦一七隻

驅逐艦四隻

(五七三三)

六二一五 樞軸軍シチリヤ中部兩都市撤退 伊軍司令部は樞軸軍がシチリヤ島中部のエンナ Enna、カルタニセツタ Caltanissetta

兩都市を撤退した旨發表した

(六一三〇)

六二一六 東條首相ムツソリニ首相とメツセチ交換 ムツソ

リニ伊首相は去る八日インテルリ駐日伊大使を通じ、東條

首相に彼は東條首相が先月議會に於て行つた大東亞宣言は東亞の諸問題解決に最も適切なりと思考する旨及チヤンドラ・ボースは彼が個人的に相識り同氏に對する援助は緊要なりと思考する旨のメツセヂを寄せたのに對し、日高駐伊大使は本日午前ムツソリニ首相と會見、帝國が執り來れる政策に關し閣下より與へられた讚辭及有益なる示唆に對し深甚なる謝意を表明すると共に伊國が新歐洲建設の爲め拂つてゐる努力に對し敬意を表する旨の東條首相のメツセヂを傳達した

(五〇七九)

六二一七 チロイ將軍英帝に謁見

六世に謁見した

チロイ將軍は英帝チヨイチ

(六二〇七)

六二一八 ローマ爆撃に對する米民衆の輿論

十一日發同盟電に依れば米ギヤラツプ輿論調査所が米英空軍のローマ爆撃に對する米民衆の輿論調査を行つた結果はローマ爆撃反對五七%、同賛成三七%であつた(六一九五)

六二一九 米鑛山労働組合労働總同盟に加盟

會長ルイスは、鑛山労働組合は今回正式に労働總同盟に加盟

した旨言明した

(六二〇〇)

六二〇 米イリノイ州炭坑夫賃金値上 米イリノイ州三萬人

の炭坑夫代表と同地区炭坑主との間に日給一弗二十五仙の賃

金値上を認むる協定が調印せられた (六〇四一)

六二一 フォード工場罷業 デトロイト市郊外フォード自動

車會社リヴァー・ルージュ River Rouge 工場の航空發動機製作

職工二千五百名が罷業を開始した (五九八九)

六二二 佛ソ伊三國駐劄土大使更迭 トルコ政府は佛、ソ、

伊三國駐劄大使の更迭を左記の如く發表した

駐佛大使 ゼヴキ・バーカー 前外務省書記長

駐ソ大使 ヒュセイン・ラゲフ 前駐伊大使

駐伊大使 ルーシエン・ユネイティン 前駐ハンガリー大使

六二三 ラウレル委員長退院 比島綜合病院に於て加療中で

あつた比島獨立準備委員會委員長ラウレル氏(五七七三)は

退院した (六一二一)

六二四 上半年に於る手形交換高 全國五十九手形交換所に  
於る本年上半期中の手形交換高は枚數一九九二三千枚、金額  
八八六五二百萬圓で前年同期に比し枚數に於て一、二七千枚  
を減じ金額に於て一四六四五百萬圓の増加を示した旨東京手  
形交換所から發表せられた (四二二〇)

七月二十二日

六二二五 帝國海軍特務艦一隻沈没 大本營發表に依ればソロモ

ン群島方面に補給増援中の帝國海軍特務艦、驅逐艦數隻並に同

援護機隊は同方面に於て敵機約九十と交戦、其の九機を撃墜し

たが我方特務艦一隻沈没した (六二一三)

六二二六 敵機スラバヤに來襲 未明敵四發大型爆撃機三機スラ

バヤに來襲數個の爆弾を投下した 有力なる赤軍部

六二二七 レニングラード北方に於る赤軍の攻勢 出で戦闘機並に

隊がレニングラード北方に於て早朝突如攻勢に對し數時間に亘る攻撃を加へた

戦車部隊の掩護下に獨軍陣地に對し戰線に於て赤軍戦車

が獨軍は之に對し熾烈な反撃を加へ同方面戦線に於て赤軍戦車

四十五を紛碎した (六一九四)

六二二八 昭南軍港に於る自沈英浮船渠浮揚 海軍當局は本年三

月以來シンガポール陥落直前英軍に依りセラター軍港に於て自

沈せしめられた五万噸の浮船渠の浮揚作業を行つてゐたが最近

其の浮揚に成功した旨本日の新開紙に於て發表せられた

(二三二三)

六二二九 伊企業並に人員の軍管理地域擴張 伊政府は、從來サル

デニア、シテリヤ兩島に於て伊軍隊の使用に供されてゐた民間企  
業並に人員の軍管理を戦争地帯として指定された南部イタリヤ全  
域（六一四五）に擴張する旨の緊急令を公布した（六〇三二）

六二三〇 シテリア戦に於る反樞軸軍の損害 米陸軍次官パターソン  
ンは、米英加軍將兵の戦死傷者数は既に六万五千に達し上陸軍兵

力の三分の一乃至五分の二の率を示してゐる旨次の如く發表した  
戦死 七四〇〇 戦傷 一七七〇〇 行方不明 二一、〇〇〇

捕虜 一八九〇〇 計 六五、〇〇〇 （六二一五）

六二三一 米潜水艦沈没 米海軍は潜水艦トライトン Triton 一四五  
〇噸が基地に歸還しないため沈没したものと推定される旨發表し

た、同號は一九四一年竣工した最新型潜水艦である（五九六〇）  
豪洲軍少將ウイ

六二三二 英西亞派遣軍軍事委員會行政主任更迭  
リアムズ Williams は陸軍准將サー・ハーバート・ハート Sir Herbert  
Hart に代り英西亞派遣軍軍事委員會行政主任 (Chief Administrator  
of the War Committee) に任命せられた、同委員會の活動範圍はニテ

プト、パレスティン、シリア、イラクの四首目である

(五八〇六)

六二三三 米ペルイ経済協定調印 ブエノスアイレス二十二日發同

盟電に依れば、米ペルイ兩國政府間にペルイ鑛産物の購入に關する協定が調印せられた、右協定に於て主要鑛産物の最低價格が定められて居り、期間は一九四四年六月三十日である

(六一三五)

六二三四 米第三回戰時公債賣出發表 米大藏長官モーゲンソーは

今秋總額百五十億弗を目標とする第三回戰時公債の賣出を行ふ旨發表した

(五九五六)

六二三五 米ロスアンゼルス市に於る交通罷業 ロスアンゼルス市のバス及市内電車従業員約三千名は罷業を開始した (六二二一)

六二三六 米大統領特使歸米 米政府當局はソ聯派遣口大統領特使

パトリック・ハーレーは最近モスクワより空路華府に歸還した旨發表した

(五六九九)

六二三七 米戰時情報局長官ロンドン着 米戰時情報局長官デーヴ

(二九九九)

イスは空路ロンドンに到着した



六二三八 上海佛專管租界返還 上海佛專管租界還付に關する細目

取極竝に諒解事項が國民政府外交部に於て國民政府外交部長裕民  
誼氏と佛代表ボアツソン大使館參事館との間に調印せられた、來  
る八月一日より實施せられる、尙佛政府は右に引續き上海共同租  
界の行政權をも來る三十一日を期して放棄することとなり裕民誼  
氏とボアツソン參事官との間に右に關する公文の交換が行はれた  
(五七七二)

六二三九 外務省外交顧問 有田八郎氏竝に山川端夫氏が外務省外

交顧問を仰付られた (三七四五)

六二四〇 第一四半期國民貯蓄額 本年度第一四半期國民貯蓄額が  
七十九億四百万圓、本年度の目標額二百七十億圓の約二割九分に  
達した旨大藏省から發表せられた (四六四四)

七月二十三日 金曜日

(1155)

六二四一 樞軸軍シチリア島北部三都市撤退 獨軍當局は、樞軸軍はシチリア島北部海岸のパレルモ Palermo、北西部のトラパニ及西部のマルサラの三都市より撤退した旨発表した

(六二一五)

六二四二 伊の壯丁動員範圍擴大 伊陸軍省は滿三十六歳迄の壯丁を徵集することとなり、戦時不可缺な業務に従事してゐる壯丁を除き一九〇七年乃至一九二二年生れの壯丁の中現在迄に徵集されてゐない將校、下士、兵卒及徵兵検査の際第二次的な軍務以外には適しない旨の決定を受けた一九一四年乃至一九二二年生れの男子全員を兵役に徵集する旨の動員令を公布した

(六二二九)

六二四三 佛北阿政權軍司令官 佛解放委員會は、准將ベルゼロ  
ンが佛領北阿政權軍司令官に、ダグナン將軍がダカール駐屯佛軍司令官に夫々任命せられた旨発表した (六〇三〇)

六二四四 米大統領のローマ爆撃に關する言明 口大統領は記者會見に於て、ローマ爆撃はシチリアに作戦中の反樞軸軍將兵の

生命を救ふ爲必要である旨を述べた (六一九六)

六二四五 子ロ一將軍北阿歸着 子ロ一將軍はロンドンより空路 (六一九七)

六二四六 アルジェールに歸着した 在ポルトガル米公使館當局は、米

本土からポルトガルに對する外國通貨並に各種證券の輸出は七

月七日以降禁止されて居り、又ポルトガルから米國本土へ輸出

される外國通貨並に證券類は八月二十五日以降沒收處分に附さ

れることなつて居るが旅行切手並に銀行信用狀は除外される

旨發表した (五一九二)

六二四七 亞ボリヴィア經濟協定 アルゼンチン、ボリヴィア兩

國政府間に經濟協定がラ・パスに於て調印せられた、右協定の

効力は本年一月に遡及し四箇年間有効で、ボリヴィアはアルゼ

ンチンに毎年二百五十噸の生ゴムを輸出し、アルゼンチンはボ

リヴィアに機械、家畜等を輸出する

六二四八 英食糧物價安定資金 英藏相キングスレー・ウッドは

下院に於て、政府は本年度食糧物價安定資金として二億一千万

鎊を支出することになつてゐるが其れは一九四〇年の支出額の

約三倍に相當する旨を述べた

六二四九 英ソ基本通商協定調印

英ソ兩國政府間に基本通商協

定がモスクワに於て調印せられた

(三〇七二)

六二五〇 宋子文ロンドン着 重慶政權外交部長宋子文は英政府

の招請に基き米國より空路ロンドンに到着した(五三二三)

六二五一 英印度政廳食糧輸出禁止 英印度政廳は全印度に對し

食糧の輸出を禁止する旨の緊急令を公布した(六一二七)

六二五二 伊上海共同租界還付 伊政府は八月一日を期し上海共

同租界(六〇〇〇)を國民政府へ還付することとなり右に關す

る協定が國民政府外交部に於て國民政府外交部長褚民誼氏と夕

リアーニ駐華伊大使との間に調印せられた(六二一六)

六二五三 重臣會議 前首相若槻禮次郎、岡田啓介、平沼騏一郎、

近衛文麿、米内光政、廣田弘毅、阿部信行及原嘉道氏は午後三

時から首相官邸に於て東條首相以下の政府當局より時局に關す

る説明を聴取、懇談した (五二六七)

(六〇八六)

七月二十四日 土曜日

六二五四

東部戦線戦況

スタールン赤軍總司令官は赤軍司令官

ロコソフスキー、ヴァツチン、ボボフ三將軍に對する命令中に於て、獨軍は七月七日以來空軍、戰車、歩兵の大部隊を以てオリョール、クイルスク、ベルゴロド方面に對し攻撃し來り赤軍の強力な反撃に遭ひ兵員と裝備の甚大な損失を犠牲にしてオリョール方面に九糎、ベルゴロド、クイルスク方面に十五糎乃至三十五糎の深さに達する楔を打込んだが赤軍は熾烈な戦闘に於て七月七日以前迄赤軍の保持してゐた地域を回復した旨を述べた (六二二七)

六二五五

米潜水艦進水

米海軍省は潜水艦フアイシエー號が大

西洋岸の造船所に於て進水した旨發表した (六〇八一)

六二五六

米船舶建造状況

米海事委員會は、開戦以來の米船舶

建造數は合計一千八百隻、本年一月一日以降の建造數は九百五十七隻で内自由型貨物船六百七十九隻、其の他の貨物船二百十二隻、油槽船二十二隻、海軍用特殊船四十四隻である旨發表した (六〇二八)

六二五七 米重慶政權宣傳部顧問任命 米國務省は、米政府は重慶政權の要請に基き四名の情報専門家を重慶政權宣傳部顧問に

任命した旨發表した (六一八二)

六二五八 アルゼンチンの上半期貿易状況 アルゼンチン政府は

同國の本年上半期に於る貿易状況を左の如く發表した

輸出	英 二九・一%	米 二四・四%	南阿 七・五%
	伯 六・六%	智 三・八%	
輸入	米 二四・一%	英 二三・二%	伯 一九・六%
	印度 五・五%	智 四・五%	瑞典 四・五%

(五〇四六)

六二五九 中華日本貿易聯合會 中華日本貿易聯合會の設立が上

海總領事館より認可され上海大使館事務所總務部長岡崎嘉平田

氏が同會會長事務取扱に任命せられた

六二六〇 麥類賣渡價格引上 農林省では曩に十八年度産麥類の

政府買入價格を石當大麥四圓、裸麥及小麥各六圓の引上を行つ

たのに伴ひ食糧管理法に基き内地産麥類の最高販賣價格を指定

即日實施した、右に依り石當り大麥三圓七十二錢、裸麥五圓、

小麥四圓九十二錢の引上となつた、尙右價格は食糧營團への賣  
渡價格で消費者への小賣價格は追て決定される

(五六四八)

七月二十五日 日曜日

大本營

二六一 我支那方面航空部隊の在支米空軍前進基地攻撃  
發表に依れば我支那方面航空部隊は七月二十三日、二十四日、  
二十五日の三日間に亘り在支米空軍の前進基地たる衡陽、零陵、  
寶慶、芷江、建甌各飛行場を攻撃し滑走路及附屬施設を爆碎し  
たる外衡陽、零陵及桂林附近に於て敵機二十八を撃墜した、我  
方の損害は自爆八であつた (四七九一)

六二六二 敵機大鳥島に來襲 敵爆撃機八機が早朝大鳥島に來襲  
したが我海軍航空部隊は其の二機を撃墜、一機を撃破した、我  
方損害自爆二機 (四二二六)

六二六三 伊フアシスト黨緊急會議 伊フアシスト首腦デ・ボ  
ノ以下二十七名出席の下に二十四日夜同黨緊急會議が開會せら  
れムツソリニ議長は内外政治並に軍事情勢に關する報告後辭  
職を聲明し次で下院議長グランチ伯が國王親ら三軍の最高指揮  
に當り憲法上の權限に基き裁斷を下す發議權を取る旨の決議案  
が本日午前三時十九票對七票、棄權一票を以て可決せられた  
(五八五二)



el. III は本日夜 **カトリ** 首相の辭表を受理しバドリオ Petro Badoglio 元帥を後任首相に任命した、同皇帝は布告を發し本日より全伊軍の最高統帥に當る、祖國に取つて此の嚴肅な秋に當り國民は夫々各自の義務と責任と戰鬪部署に就かねばならぬ旨及前記の如く首相の更迭せる旨宣言した、バドリオ元帥は首相就任と同時に國民に對し彼は皇帝の命令に依り全權を委員されて伊國軍政を擔當することとなつた、戰爭は依然繼續されて居り國民は一致團結國王の周圍に結集しなければならぬ旨及彼が受けた任務は忠實に遂行せられるであらう旨布告した (六二六三)

六二六五 駐華獨大使上海着 駐華獨大使エルンスト・ウエルマン Dr. Ernst von Woermann は東京より上海に到着した (四二一八)

ラウレル長官狙撃犯人軍法會議に送付さる  
 比島内務長官を狙撃したヒナロ・マルセリノ外五名は憲兵隊の取調を終り軍法會議に送付された (六二二三)

七月二十六日 月曜日

六二六七 伊全土に戒嚴令布告其の他 伊首相バドリオ元帥は伊全土に戒嚴令を布告すると共に八項目より成る保安宣言を發表した

バドリオ元帥は、フアシスト民軍を義勇軍に改編し國軍に協力させる旨發表した

駐トルコ伊大使ラファエレ・グアリリア男爵 Baron Raffaele

Guarigliaが外相に任ぜられた (六二六四)

六二六八 伊内閣更迭 伊首相バドリオ元帥は左記の通り内閣を

組織した

外相 ラファエレ・グアリリア Baron Raffaele Guariglia

内相 ブルイーノ・フォルナチアリ Bruno Fornaciari

伊領アフリカ相 メルキアード・ガツバ將軍 Melchiade Gabba

藏相 ドメニコ・バルトニーニ Domenico Bertoinini

法相 ガスタノ・アザリツチ博士 S.S. Asariti

薩相 アントニオ・ソリツオ Antonio Soriceo

海相 ラファエレ・デ・クルテン少將 Raffaele de Curtén

空相	レナド・サンダリ 將軍	Renato Sandalli
厚生相	ドメニコ・ロマノ 博士	Domenico Romano
農林相	アレサンドロ・ブリツィ	Alessandro Brizi
交通相	フレデリコ・アモローゼ 將軍	Frederico Amorose
組合相	レオポルド・ピカルデイ 博士	Leopoldo Piccardi
文化宣傳相	ギド・ロツツオ	Guido Rocco
貿易相	チオヴァンニ・アカンフォラ 博士	Giovanni Acanfora
軍需相	カルロ・ファヴァグロツサ 將軍	Carlo Favagrossa
内閣書記官長	ピエトロ・バラトノ 博士	Pietro Barabono

(六二六七)

六二六九 伊政變に關する獨情報部長の言明 獨外務省情報部長  
 シユミット博士は記者會見に於て、ムツツリニ首相の辭職は  
 過日のヒツトラニ總統ムツソリニ首相會談(六一九七)とは  
 關係がない、バドリオ首相が戰爭は今後も繼續するを布告した  
 のを多とする、ファシスト黨義勇軍が國軍に編入された(六二  
 六七)が今後黨がどうなるかは分らぬ、米英の宣傳は新首相の  
 戰爭繼續聲明で非常に控目になった旨を述べた  
 (六二六八)

六二七〇 米罷業 罷法適用 ペンシルヴェニア州ピッツバーグ  
の聯邦陪審院に於て罷業 罷法が初めて適用せられ同州に於る  
政府管理下の炭坑二十四箇所に於て罷業を教唆乃至指導した廉  
で鑛山労働組合役員及所屬員三十名が起訴せられた  
(五九四九)

六二七一 宋子文英外相訪問 重慶政權外交部長宋子文は同政權  
駐英大使顧維鈞と同道英外務省にイーデン外相を訪問、午後英  
副首相アトリ、駐英米大使ワイナントを歴訪した  
(六二五〇)

六二七二 國民政府の第三國人歸化禁止令 國民政府内政部長陳  
羣氏は、國民政府内政部では第三國人歸化禁止令を制定、近く  
行政院會議に附議決定の上公布されることとなつた旨言明した  
六二七三 全印回教徒聯盟總裁刺客に襲撃せらる 全印回教徒聯  
盟總裁モハメッド・アリ・ジンナーは訪問客を装つた刺客に短  
刀を以て襲撃され輕傷を負うた (三三二五)  
六二七四 大東亞戰爭公債六億圓發行 大東亞戰爭公債六億圓が  
預金部及日本銀行引受に依り發行せられた (五九五六)

七月二十一日 水曜日

補遺 六二七五 米陸軍航空部隊參謀長任命 米陸軍省は、陸軍少將チヨード・スト  
リート・メーヤーに代り陸軍少將バーネイ・ジャイルスを航空部隊參謀長に  
任命した旨發表した (六一六七)

七月二十五日 日曜日

補遺 六二七六 駐伊日獨兩大使バドリオ元帥會見 バドリオ元帥は日高駐伊大使及  
びマツケンゼン Hans Georg Mackensen 駐伊獨大使の來訪を求め、同  
元帥に組閣の命令あつた旨兩大使に言明した (六二六四)  
補遺 六二七七 澤田大使蘭貢着 澤田大使は二十三日福岡發本日空路蘭貢に到着し  
た (六二一〇)

X X X X X

七月二十七日 火曜日

六二七八 敵機香港に來襲 香港占領地總督部報道部發表に依れば敵機六機が香港島に來襲したが地上砲火の邀撃に遭ひ遁走し  
(五六四二)

六二七九 米船舶建造契約 米海軍委員會は、米東岸及びメキシコ灣沿岸各地の造船所を自由型船舶二百三十隻建造契約を爲した  
(六二五六)

六二八〇 伊政府更迭に關する伊政府當局言明 伊政府當局は伊政府更迭に關し左の通り言明した  
(六二六八)

一、今次内閣更迭は革命でもクーデターでもなく、内閣の更迭は憲法に準據して行はれた

二、國王は憲法上の手續に依り三軍を親ら統帥し且つ政治の最高權力を把る

三、伊政府の戦争に對する政策には何等變化なく伊政府は自國の公約を遵守する

六二八一 ジョルナーレ・デイタリア紙主筆更迭 ジョルナーレ・デイタリア Giornale d'Italia 新聞主筆ヴェイルギニオ・ガイダ

Virginio Gaïda 氏は辭任し上院議員アルベルト・ベルガミーニ

Alberto Bergamini 氏が主筆となつた (六二六八)

六二八二 伊情勢に關する英首相の演説  
に於て演説、伊が獨り連繫を保持する限り英は伊に對する攻撃  
を續行する旨述べた (六二六八)

六二八三 伊内閣親任式並に初閣議決定事項  
班とする内閣は親任式を舉行、次で閣議を開き次の事項を決定  
した (六二八〇)

一、戰時に際し政黨の結成を禁止する

一、伊國民は國旗の下に一致團結する

一、フアシスト黨並に組合議會(下院)を解散し戰爭終了後四箇  
月以内に新たなる下院議員を選擧する

六二八四 伊上院議長更迭 伊上院議長ジアコモ・スワルド伯は  
辭任し後任にジアン・パオロ・クオン・テイ・レプエル提督が  
任ぜられた (六二八三)

六二八五 伊大使重光外相會見 インヂェルリ駐日伊大使は重光外  
相を訪問、本國政府の訓令に基きム首相の辭任後も日獨伊三國

協同戦争遂行に關する伊の方針には何等の變化なき旨通告した  
(六二八〇)

七月二十八日 水曜日

六二八六 ブーゲンビル、ニュー・ブリテン兩島に敵機來襲 大

本營發表に依れば帝國海軍航空部隊は二十五、六兩日ブーゲン  
ビル島來襲の敵機合計百五機を同島上空に邀撃其の二十七機を  
撃墜、又本日ニュー・ブリテン New Britain 島西端に來襲せる  
敵機約七十機と交戦其の五機を撃墜した。右兩戦鬪に於て我方  
は驅逐艦一隻沈没、飛行機十二機を失つた (六一七七)

六二八七 獨軍ボルホフ撤退 獨軍當局は、獨軍がオリヨール北  
方五十軒の地點に在るボルホフ Bolhov より戰略的に撤退した旨  
發表した (六二五四)

六二八八 伊新作戦區域指定 伊政府は官報を以てナポリ、ベネ  
ヴェント Benevento、マヴェルポ、サレルモ Salerno、ポテ  
ンツア Potenza 及びマテラ Matera 地方を作戰地域に指定した  
(六一四五)



六二八九 ナチス航空隊司令官任命 ヒ總統はケラー Alfred

Keller 大將をナチス航空隊司令官に任命した(四四六四)

六二九〇 獨伊關係に關する獨情報部長の言明 シュミット獨外務省情報部長は記者會見に於て、獨伊兩國同盟關係はヒ總統とム首相との個人的友情並に國民社會主義革命とフアツシヨ革命の同一性に基礎を有して居たが、今次の伊内閣更迭に依り同盟の本質的意義が變更されることはない、兩國の存亡に關する問題こそ同盟の自然的基礎であり米英ソ聯に對する共同の闘争の基礎である旨言明した (六二六九)

六二九一 米大統領放送演説 口大統領は伊政變其他の問題に關

し次の如き放送を行つた (五四一五)

一、伊に對する我々の條件は獨及び日本に對する條件と同様、無條件降服である

一、シチリア島作戰は一年以上以前から計畫せられて居つたものであり、同島に對する最初の攻撃に使用せられた艦船は三千で内米艦船千五百、兵員は米英加佛軍を含め十六萬で内米軍四萬、車輛一萬四千臺、戰車六百臺、各種砲千八百門であつた

一、米に於て今年中に建造せられる商船は一千九百萬噸に達する  
豫定であり、明年は二千一百萬噸以上となる見込である  
一、過去數箇月間に於る獨潜水艦の活動に就ては樂觀は禁物であ  
る

一、我々は重慶軍に飛行機其他軍需品を送り、支那、佛印及び  
ビルマ方面の日本軍の連絡路、物資格納庫及び基地を爆撃し  
て居るが、對日戦争の主要目的を達する道は遼遠である

一、米に於るコーヒー割當制(三七二七)を今夜より廢止する

六二九二 亞國佛商船を拿捕 亞國外相ストルニ將軍は、同國政

府が佛商船カンバニア Cambania 號(一〇八一六噸)、フォルモサ

FORMOSA 號(九九七五噸)及びカピオラ Capioia 號を拿捕した

旨發表した (五八七一)

六二九三 亞國大統領バラグアイ訪問決定 亞國大統領ラミレス

將軍は、同國駐劄バラグアイ大使ハライ大佐よりのバラグアイ政

府訪問招請を受諾した旨發表した (五八九〇)

六二九四 南阿聯邦首相再度首相に當選 同聯邦に於る總選舉の

結果、現首相スマッツが首相に當選した旨發表せられた (六〇八二)

六二九五 伊ステファニ通信社長逝去 ステファニ Stefani 通信 (117)

社長マンリオ・モルガニ Manlio Morgagni 氏は逝去しシエスタ

博士が後任に任ぜられた (六二八四) マ

六二九六 マイスキ駐英大使ソ聯外務人民委員部次長任命

イスキ駐英ソ聯大使は外務人民委員部次長に任命せられた (六一二〇)

六二九七 中支軍管理敵産工場第十三回返還式 中支軍管理敵産

工場最終返還式が上海に於て舉行せられた

本日迄の軍管理工場の處理狀況は次の通りである (四三一九)

一、返還したるもの 紡績五十七、一般五十八、計百十五

一、解除及び其の他のもの 紡績十、一般十五、計二十五

六二九八 麥類小賣價格引上 農林省は大麥、稞麥、小麥を原料

とする精麥の小賣價格引上げを實施した (六二六〇)

七月二十九日 木曜日

(1171)

六二九九

十八夏太作戦に於て戦果 北支軍發表に依れば軍は

太行山脈中に在った蔣系第二十七軍に對し七月以來作戦を開始、

本夕までに左の戦果を擧げた (五七三一)

△遺棄死體一、三七一 △俘虜三、六八六

△投降一、〇七 (將校多数を含む) △迫撃砲一七 其他

△俘虜となりたる主要なる敵幹部八 贖備第八師長陳幸強、第四

十六師等百三十六團長上校郭佩德、同副團長中校維新

六三〇〇 樞軸島シチリア島ニコシア地區撤退 シチリア島ニコ

シア Nicosia 地區樞軸軍は戦線短縮の爲ニコシア市より撤退し

た (六二四一)

六三〇一 米陸軍長官北アフリカに到着 米陸軍次官スミス

Robert Patterson は米陸軍長官スミスが北アフリカ反樞軸

軍總司令官アイゼンハワーと協議の爲北アフリカに到着した旨

發表した (六一四八)

六三〇二 ロメル獨元帥サロニカ到着 本日附獨各紙は幾に療養

中であつたロメル元帥がサロニカ飛行場に到着した寫眞を一查

に掲載した

(五五一二)

六三〇三 米人口移動状況

米國務調査局發表に依れば一九四三年

三月一日に於る米市民總數は多數人口が軍隊に召集せられた結果一億二千八百萬二千人となり一九四〇年四月一日に比し三百二十九萬八千人を減じ、又新たに西部沿岸地方へ人口集中の現象が見られ東北部、北部、中部及び南部は人口が減少した

(五八四九)

六三〇四 伊外相歸國

伊新外相デアリリア男は空路羅馬に歸着

(六二六八)

した

六三〇五 ポルトガル勞務者騷擾

二十六日リスボン市の造船所

コルク工場に職業が勃發、其の他ガス會社、發電所にも職業が開始されたが政府は軍隊、警察官等を動員して鎮壓に努め解決の見透しが付いたので報道差止めを解除した (六二六八)

六三〇六 大島駐獨大使と總統訪問

獨駐劄大島大使は二十八日

伯林を出發、本日總統大本營に於ては總統及びリツベントロツプ外相と會見、三十日伯林に歸着した

(六二八五)

六三〇七

英婦人徵用年齢引上

五十歳迄の婦人を徵用し得る權

限を政府に賦與する法案が下院に於て可決された。従來の婦人

徵用最老年齡は四十五歳であつた

(五四二八)

六三〇八

南支に於る敵産移管

式が廣東に於て行はれた。學校十六、病院十二、工場四十、倉

庫七、教會八十其の他共計二百二十件

(五九九三)

六三〇九

織物製造業整備要綱

戦力増強企業整備基本要綱に基

く織物製造業整備要綱が商工省より發表せられた(六一〇五)

七月三十日 金曜日

六三一〇

我航空部隊在支米空軍基地攻撃

大本營發表に依れば

我支那方面航空部隊は二十六日以降本日迄連日衡陽及び建甌の

飛行場其の他軍事施設を爆撃し、挑戦し來れる敵機中其の十六機

を撃墜、我方自爆四機を出した

(六二六一)

六三一

米海軍省發表に依れば

米海軍省發表に依れば

方ダルクナル島米軍司令官たりしヴァンダーグリーブ少將は中

將に昇進し、同時に海兵隊司令官に任命せられた

(四三九九)

六三一二 米英食糧使節團訪亞決定 米英合同食糧委員會は(1174)

兩國の食糧専門家六名より成る使節團を視察調査の爲アルゼンチンに派遣したる旨發表した (六一三四)

六三一三 濠外相歸國 濠外相エヴァットはキヤンペラに歸着した (五二二九)

六三一四 英緊急閣議 午前四時半より約二時間に亘り緊急閣議が開催せられた (六二八三)

六三一五 伊内閣更迭に關するソ聯のスイーデン、トルコ兩國宛通達 ソ聯外務人民委員部はソ聯政府がスイーデン、トルコ兩國駐節ソ聯大使を通じて兩政府に對しムツソリニ前伊首相の亡命を許可す可からざるの申入れを行つた (六二八〇)

六三一六 上海佛租界返還式舉行 上海に於て上海佛專管租界返還式が舉行せられた (六二三八)

七月三十一日 土曜日

六三一七 敵機我ニューイヂヨイヂア島陣地に來襲 敵機約百五十機はニューイヂヨイヂア島ムンダ我陣地に來襲したが我地上砲火

(六二六二) (1173)

に依り三機を撃墜せられて遁走した  
六三一八 敵機コロバンガラ島に來襲 敵機百六機を以てする

戦爆連合編隊がコロバンガラ島に來襲したが我地上砲火に依り七機を撃墜せられて遁走した。我方の損害輕微(六三一七)

六三一九 佛國防委員會成立 佛國防委員會が成立し左の如く任命せられた (六二四五)

國防委員會議長 シヤルル・ド・ゴール

陸海空軍總司令官 アンリー・ジロ

國防委員 陸軍大將ボール・ジャンテイルム

陸軍參謀總長 ベルル・ライエ

陸軍參謀副長 陸軍大將ジョゼフ・ペール・ケニツヒ

海軍參謀總長 海軍少將レモニエ

海軍參謀副長 海軍少將フリッブ・オーブネア

空軍參謀總長 陸軍大將ブリスカ

六三二〇 スチムソン華府歸着 米陸軍長官スチムソンは華府に歸着した (六三〇一)

六三二一 米陸軍輸送部隊一箇年の專續 米陸軍輸送部隊當局は



同部隊創設二周年に際し、陸軍輸送部隊は参戦以來二百萬の兵員を海外十五箇國の基地に輸送、又約二千萬噸の軍需物資を補給した旨發表した

(五四七九)

六三二二 米六月の軍需生産狀況 米戰時生産局長ネルソンは、六月中に於る航空機生産は各機種合計七千臺以上であるが右は豫定生産高に達せず且つ重量に於て五月に比し三%増加を示したに過ぎぬ。其の他の軍需品生産も豫定高に達せず、従つて政府の生産計畫を實現する爲には下半期に非常の努力を要する一旨發表した

(六〇七〇)

六三二三 チアノ・ヴァティカン駐劄伊大使辭任 チアノ伯は伊國皇帝エマヌエーレ三世に辭表を提出、皇帝は之を受理した

(四五四九)

六三二四 重慶政權、對佛斷交 重慶政權は佛政府との外交關係を斷絶した旨發表した

(六二〇四)

六三二五 在華邦人課税に關する日華條約調印  
 日本國民に對する課税に關する日本國中華民國間條約、附屬協  
 定及び之に關する日華兩國全權委員間了解事項が南京に於て調  
 印せられたる八月一日より實施せられた  
 (四九三號)

(1177)

八月一日 日曜日

大本營

(1178)

六三二六 我海軍航空部隊レンドバ港所在敵艦船等攻撃  
發表に依れば帝國海軍航空部隊は三回に亘りレンドバ港所在の  
敵艦船竝に附近の軍事施設を攻撃し左の戦果を得た  
(六二一二)

一、撃沈 大型輸送船一隻 中型輸送船四隻 小型輸送船六隻  
驅逐艦一隻 上陸用丹艇六隻以上

二、撃破 巡洋艦一隻 上陸用丹艇一隻

三、撃墜 戦闘機九機 魚雷艇基地、機橋及び港外パウロロ島物資集積所

四、炎上 本攻撃に於る我方の損害は自爆二機であつた 敵機二百十三機は前後

六三二七 敵機イサベル島陣地に來襲 敵機二百十三機は前後  
四回 四回に亘りイサベル島陣地に來襲したが地上砲火に依り十  
(六三一八)

六三二八 機を撃墜せられた 米機約百機が  
ブーゲンビル島ブインに來襲したが我戦闘機隊これを邀撃其の  
(六三二七)

四機を撃墜した

六三二九 シチリア島樞軸軍二地點撤退  
チャーチル首相の下院

に於る言明に依ればシチリア島中部地區に於てカナダ軍はレガ  
ブート、又北部の米軍はトロイナを占領した (六三〇〇)

六三三〇 獨軍七月中の敵艦船擊沈數  
獨總統大本營は次の通り  
發表した

一、獨軍は七月中に敵船舶九十四隻五十五万四千二百四十一噸を  
擊沈、更に五十三隻二十四万六千七百五十噸に損害を加へ、  
其の他少くも二百二十隻約七十八万噸に爆彈又は魚雷を以て  
攻撃を加へた。右の中潜水船に依る擊沈噸數は三十五万一千  
(六〇〇八)

二百四十三噸である  
一、獨海軍は七月中に敵驅逐艦三隻高速魚雷艇七隻潜水艦一隻哨  
戒艇一隻を擊沈、巡洋艦一隻驅逐艦三隻高速魚雷艇十五隻に  
損害を加へた。又空軍は驅逐艦一隻高速魚雷艇三隻護衛艇一  
隻コルヴェット艦二隻及び上陸用丹艇多數を擊沈、其の他主  
力艦一隻巡洋艦數隻驅逐艦九隻上陸用丹艇多數に損害を與へ  
(六二一四)

六三三一 米航空母艦進水  
米海軍省發表に依れば航空母艦バタ

アン Belean が東部沿岸某造船所に於て進水した (五五〇)

六三三二 米驅逐艦二隻進水 米海軍委員會發表に依れば米造船所に於て驅逐艦二隻及び貨物船一隻が進水した (六二五五)

六三三三 米陸軍航空部隊兵員數 米陸軍航空部隊司令官中將ア

一ノルドは同部隊創設三十六周年記念日に際し、米陸軍航空部隊は今日二百万の青年を以て編成せられてゐる旨演説した (六一〇九)

六三三四 伊壯丁動員方針不變 伊軍當局は前内閣に依り發布せられて居た一九二七年兵乃至一九四二年兵の召集令を八日より

十二日に至る間に實施する旨發表した (六二四二)

六三三五 スベルマン紐育歸着 口大統領特使スベルマンは空路紐育に歸着した (六一八五)

六三三六 チリ米へ商船讓渡 チリ大統領リオスは藏相ペドレীগアルに對し商船三隻を米に賣却する權限を賦與する旨の命令を發した (六一〇二)

六三三七 伊外相重光外相に挨拶 グアリリア伊外相は重光外相に對

も三國同盟の精神に即して日伊兩國關係の特質たる協力を繼續する旨

の挨拶の電報を寄せた

(六二八五)

六三三八 ヒンツィ・マハサバ黨總裁辭任

ヴィナヤク・ダモダ

ール・サヴァルカル Vinayak Damodhar Savarkar は病氣の爲めヒンツィ・マハサバ黨總裁を辭任した (五〇三四)

六三三九 ビルマ方面我最高指揮官軍政並に行政府廢止布告 河

邊ビルマ方面最高指揮官は午前十時、本日をも以て現行政府の施政區域に於る軍政を撤廢する旨布告、バー・モウ行政長官に對し右布告を示達した (五四八七)

六三四〇 ビルマ獨立準備委員會解散並に建國議會召集

バー・

モウ行政長官は獨立準備委員會任務完了に因り右委員會を解散し獨立手續の爲め建國議會召集する旨宣言した (六三三九)

六三四一 ビルマ國獨立宣言、國家兼成に關する基本法可決並に國家代表推戴其の他 建國議會は獨立準備委員二十五名を其の儘

議員に選定して午前十一時開會、バー・モウ氏を議長に推薦、同議長は本議會が民意代表の議會である旨宣言した後河邊最高指揮官以下日本軍關係者臨席の下に午前十一時三十分開議、長は一千六百万ビルマ國民の名に於てビルマ國の獨立を宣言した

(六三四〇)

建國議會は獨立準備委員會の起案に關する國家構成に關する基  
 本法を審議可決した

建國議會は引續き前行政長官パー・モウ氏を全會一致國家代表  
 に推戴した

パー・モウ・ビルマ國家代表は午前十一時内閣閣僚並に勳章  
 間十九名を左の通り任命した

- |           |        |            |           |           |                |                 |       |               |           |                 |       |
|-----------|--------|------------|-----------|-----------|----------------|-----------------|-------|---------------|-----------|-----------------|-------|
| 首相        | 總理     | 副首相        | 内相        | 外相        | 財務相            | 國防相             | 收稅相   | 法相            | 教育保健相     | 農相              | 商工相   |
| ウ・バ・ウイン   | タキン・モウ | タキン・ミヤ     | ウ・バ・ウイン   | タキン・ヌー    | イン・モン          | オン・サン少將         | ウ・エ   | ウ・テイン・モン      | ウ・ラ・ミン    | タキン・タン・トン       | ウ・ミヤ  |
| Thakin Nu | Ba Maw | Thakin Mya | U Baw Yin | Thakin Nu | U Thakin Maung | Thakin Aung San | U Aye | U Thein Maung | U Re Ming | Thakin Than Tun | U Mya |

交通灌溉相

タキン・レイ・モン

Thakin Rei Maung

林務相

ウ・ラ・ペ

U Hla Pe

厚生宣傳相

バンツラ・ウ・セイン

Bandoola U Sein

協力相

ウ・トン・アウン

U Tun Aung

土木復興相(内定)

タキン・ルン・バウ

Thakin Rung Baw

樞密院顧問

タキン・コドウ・マイン

Thakin Kodaw Hmeing

六三四二 ビルマ國對米英宣戰布告 バー・モウ首相は午後四時

六三四三 ビルマ國獨立を各國に通告 (六三四一) ビルマ國はバー・モウ國

六三四四 家代表の名を以て日、獨、伊、歐洲國、中華民國、泰國、ハン

六三四五 ガリア、スペイン、ルーマニア、ブルガリア、スロバキア、ク

六三四六 ロアチア、佛、ソ聯、トルコ、フィンランド等の樞軸並に中立

六三四七 國に對し同國の獨立を通告した (六三四二)

六三四八 帝國ビルマ國承認其他 午後五時帝國とビルマ國との間に同盟條約が蘭貢に於て署名せられ、帝國は同條約前文に